

※今後変更となる可能性あり。

### 事業概要

- 本事業では、国が主導する「沖縄交通リ・デザイン」の取り組みと連携し、県民等参加型のワークショップ等を実施する。
- 本県の地域公共交通計画を着実に推進していくためには、地域の事情やトレンド等を踏まえたうえで必要な対応を検討する必要がある。本事業により収集した県民目線のリアルな意見等については、当該計画や関連施策の随時必要に応じた見直しに役立てていきたい。

### STEP.1 講習 & ワークショップ 1 回目

- ① 各圏域毎の地域公共交通に係る概要等を講習し、受講者に必要な情報（新たな公共交通システムに係る情報を含む。）をインプット
- ② 講習の後、各自の実生活を踏まえた問題・課題等について、受講者同士で自由な意見として発表・検討
- ③ 発表・検討した問題・課題等に対し、理想はどうあるべきか等について、相談・検討し、まとめる。

### STEP.2 実証等

- ワークショップでまとめた理想の姿等を踏まえたうえで、実生活の中で積極的な公共交通利用等に取り組んでもらう。
- この際、公共交通を活用するインセンティブの検討が必要

### STEP.3 ワークショップ 2 回目

- 受講者に再度集まってもらい、実証期間で感じたことを話し合い、1 回目と同様に問題・課題、理想の姿等について、再度検討し、まとめる。
- 実証前後における意見等の変化を確認し、地域の公共交通の奥深さを体感するとともに、よりリアルな意見等の抽出する。

- 現時点で想定する実施校は次のとおり。  
【北部圏域】名桜大学、沖縄工業高等専門学校 他  
【中部圏域】琉球大学、県立高等学校（1 校以上） 他  
【南部圏域】沖縄大学、県立高等学校（1 校以上） 他
- 県立高校は、STEP1のみとなる場合もあり得る。

- 各校関係者と調整のうえ、当該WS参加者が地域住民等へヒアリング調査を行うなどのフィールドワーク等に対する支援（テーマ・設問設定等）も実施
- 当該WSの他、本島の県立高等学校及び交通弱者等へのアンケート・ヒアリング等も実施

内容		備考	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国	リデザイン協議会	国、県、金融機関、商工会等（具体的取組みの検討等）		★									★
	コアメンバーWG	国、県、金融機関、商工会等（PIデザイン検討等）	—										
県	WS1 回目	<b>対象:</b> 主に本島各圏域の若者目線の観光趣向も併せ持つ大学生 <b>説明:</b> 学生である一方で社会人生活を目前に控え、自らの将来像をこれから形成していく年代。若者目線での観光趣向も併せ持つ学生を主な対象としたい。学生・社会人・観光客目線で前向きに沖縄の地域公共交通を考えられる存在である彼らが、社会に進出した際、行動変容に向けた機運醸成の役割を果たしていくことも期待		.....									
	実証												
	WS2 回目												
	アンケート・ヒアリング等 ※特に高校生、移動困難者等												
	WS結果分析・とりまとめ												

圏域ごとのPIのデザイン検討

連携

(関係者との調整等)

報告